



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ
コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良一
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 CFO (氏名) 若原 義之 TEL 03 (5777) 1891
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,056	29.9	191	33.1	186	48.6	137	77.8
28年3月期第2四半期	2,353	45.3	143	571.9	125	531.9	77	470.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 140百万円 (353.2%) 28年3月期第2四半期 30百万円 (228.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.55	1.54
28年3月期第2四半期	0.87	0.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	3,775	1,786	47.1	20.04
28年3月期	3,605	1,646	45.4	18.46

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,777百万円 28年3月期 1,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	9.0	350	17.8	330	19.0	230	70.0	2.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	88,730,896株	28年3月期	88,730,896株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	26,098株	28年3月期	26,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	88,704,798株	28年3月期2Q	88,705,024株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の底堅さから緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の景気減速基調や英国の欧州連合(EU)離脱問題を受け円高が進み、国内景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、既存事業において新規顧客獲得に向けた営業活動や経費削減等に取り組み利益増大を図る一方、新たな事業の創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,056百万円(前年同四半期比29.9%増)、営業利益191百万円(前年同四半期比33.1%増)、経常利益186百万円(前年同四半期比48.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益137百万円(前年同四半期比77.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① IT関連事業

IT関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、助成金を利用したシステム入替の提案を行っていましたが、前年同期に比べて受注件数が減少いたしました。また、台湾の合弁会社において、自社ブランドの車載器の開発に取り組んでおりますが、開発の遅れにより日本市場に参入できておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は132百万円(前年同四半期比3.5%減)、営業損失は5百万円(前年同四半期は営業損失6百万円)となりました。

② 企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりましたが、大型案件を受注することはできませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は30百万円、営業利益は27百万円となりました。なお、前年同四半期は、売上高は計上されておらず、営業損失0百万円でありました。

③ 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、レジデンス事業における積極的な営業活動により管理物件の戸数が増加し、また、不動産売買事業も好調に件数を伸ばしましたが、一時的に空室に対する家賃保証をいたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は2,028百万円(前年同四半期比52.3%増)、営業利益は83百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

④ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心に中華麺等の製造販売を行っております。ラーメン店の閉店や自家製麺等への切り替え等により受注高は減少いたしました。顧客のニーズに沿った商品の提供による新規受注や既存店の店舗拡大により受注高も回復いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は80百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益は6百万円(前年同四半期は営業利益0百万円)となりました。

⑤ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。成田ゲートウェイホテルは、成田地区全体の宿泊者数が減少し周辺ホテルとの価格競争により宿泊単価は下落いたしました。営業努力により稼働率の維持や経費削減にも努めてまいりました。一方、倉敷ロイヤルアートホテルは、企業の宴会利用や慶事・婚礼等のレストラン利用が減少したものの、客室の一部改装などの影響により宿泊単価、稼働率ともに上昇いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は785百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益155百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21百万円、たな卸資産が41百万円増加したものの、有価証券が8百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が132百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は759百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。これは主に買掛金が16百万円、1年内返済予定の長期借入金が20百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主に長期預り敷金保証金が6百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益137百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.1%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,341百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は154百万円（前年同期は0百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益186百万円の計上、仕入債務が16百万円増加したものの、たな卸資産の増加による支出が41百万円、預り金が12百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は137百万円（前年同期は287百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の売却による収入が7百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が125百万円、有形固定資産の取得による支出が28百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は16百万円（前年同期は16百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が81百万円あったものの、長期借入れによる収入が100百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,419,638	1,441,227
売掛金(純額)	112,237	106,550
有価証券	51,023	42,071
たな卸資産	224,573	265,908
繰延税金資産	39,997	39,997
その他	98,508	103,248
流動資産合計	1,945,978	1,999,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	865,106	851,468
土地	348,663	348,663
その他(純額)	30,363	42,615
有形固定資産合計	1,244,132	1,242,747
無形固定資産		
のれん	208,685	195,661
その他	12,009	19,857
無形固定資産合計	220,694	215,519
投資その他の資産		
投資有価証券	54,379	186,761
関係会社株式	78,645	73,262
その他	61,226	58,318
投資その他の資産合計	194,251	318,342
固定資産合計	1,659,078	1,776,609
資産合計	3,605,056	3,775,612
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,046	79,515
1年内返済予定の長期借入金	149,632	170,308
未払金	82,273	68,224
未払法人税等	40,677	48,789
賞与引当金	21,929	26,884
預り金	101,100	88,667
金利スワップ	44,800	43,207
その他	220,355	234,212
流動負債合計	723,816	759,809
固定負債		
長期借入金	819,266	816,766
退職給付に係る負債	8,967	9,496
長期預り敷金保証金	244,695	238,329
繰延税金負債	162,258	164,688
固定負債合計	1,235,187	1,229,280
負債合計	1,959,003	1,989,089

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,578,674	1,578,674
資本剰余金	267,219	267,219
利益剰余金	△160,867	△23,030
自己株式	△3,020	△3,020
株主資本合計	1,682,005	1,819,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	4,624
繰延ヘッジ損益	△44,800	△43,207
為替換算調整勘定	-	△3,586
その他の包括利益累計額合計	△44,800	△42,170
新株予約権	8,219	8,214
非支配株主持分	628	637
純資産合計	1,646,052	1,786,523
負債純資産合計	3,605,056	3,775,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,353,440	3,056,488
売上原価	1,350,257	2,002,967
売上総利益	1,003,182	1,053,520
販売費及び一般管理費	859,552	862,293
営業利益	143,629	191,227
営業外収益		
受取利息	5,173	381
受取配当金	2,229	240
有価証券売却益	-	426
受取手数料	6,714	7,659
受取事務手数料	2,100	2,100
その他	8,738	2,439
営業外収益合計	24,956	13,246
営業外費用		
支払利息	10,001	9,413
有価証券評価損	6,194	2,199
持分法による投資損失	5,354	1,795
為替差損	16,990	4,329
その他	4,763	535
営業外費用合計	43,303	18,273
経常利益	125,282	186,199
特別損失		
投資有価証券売却損	1,087	-
投資有価証券評価損	3,611	-
解約違約金	9,965	-
特別損失合計	14,664	-
税金等調整前四半期純利益	110,617	186,199
法人税、住民税及び事業税	36,594	47,889
法人税等調整額	△2,950	465
法人税等合計	33,644	48,354
四半期純利益	76,973	137,845
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△561	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,534	137,836

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	76,973	137,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,385	4,624
繰延ヘッジ損益	△589	1,592
為替換算調整勘定	—	△3,586
その他の包括利益合計	△45,974	2,630
四半期包括利益	30,998	140,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,560	140,467
非支配株主に係る四半期包括利益	△561	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,617	186,199
減価償却費	28,884	32,845
のれん償却額	20,852	13,023
貸倒引当金の増減額(△は減少)	295	178
受取利息及び受取配当金	△7,402	△621
支払利息	10,001	9,413
為替差損益(△は益)	16,990	4,329
持分法による投資損益(△は益)	5,354	1,795
有価証券売却損益(△は益)	—	△426
有価証券評価損益(△は益)	6,194	2,199
新株発行費	4,642	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,087	—
投資有価証券評価損益(△は益)	3,611	—
売上債権の増減額(△は増加)	△25,695	5,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79,155	△41,335
仕入債務の増減額(△は減少)	1,424	16,468
預り金の増減額(△は減少)	△7,749	△12,433
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△5,093	△6,366
その他の引当金の増減額(△は減少)	5,448	5,483
その他	△63,722	△27,493
小計	26,586	188,771
利息及び配当金の受取額	7,402	295
利息の支払額	△9,945	△9,436
法人税等の支払額	△23,176	△25,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	867	154,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△52,594	—
有価証券の売却による収入	—	7,178
有形固定資産の取得による支出	△3,716	△28,630
無形固定資産の取得による支出	△5,158	—
投資有価証券の取得による支出	△34,680	△125,793
投資有価証券の売却による収入	15,659	—
貸付けによる支出	△167,900	△700
貸付金の回収による収入	33,328	1,162
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,000	9,500
関係会社株式の取得による支出	△69,130	—
その他	△136	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,329	△137,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△2,000
長期借入れによる収入	80,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△67,592	△81,824
自己株式の取得による支出	△44	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△24,000	—
新株予約権の発行による支出	△4,642	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,278	16,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△383	△2,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△303,123	31,089
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,481	1,310,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	980,357	1,341,227

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	137,120	—	1,331,729	77,669	806,920	2,353,440	—	2,353,440
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	38	16	54	△54	—
計	137,120	—	1,331,729	77,707	806,937	2,353,494	△54	2,353,440
セグメント利益 又は損失 (△)	△6,451	△154	92,517	596	145,577	232,085	△88,456	143,629

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△88,456千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	132,376	30,000	2,028,350	80,489	785,271	3,056,488	—	3,056,488
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	132,376	30,000	2,028,350	80,489	785,271	3,056,488	—	3,056,488
セグメント利益 又は損失 (△)	△5,263	27,870	83,154	6,602	155,944	268,308	△77,081	191,227

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△77,081千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。